

HBL 385

建築構造用
550N/mm²TMCP鋼材
HBL385B、C (厚鋼板)

特長

鉄骨コストのミニマム化に貢献します。

鋼材及び溶接部の基準強度は385N/mm²です。

柱・梁部材に適用すると、490N/mm²級（基準強度325N/mm²）に比べ、最大15%の鉄骨重量減が可能。

鋼材強度あたりの経済性に最も優れているため、鉄骨コストのミニマム化に貢献します。

溶接部の破断防止性能が大幅に向上

TMCPプロセスの精密なコントロールにより、良好な溶接性を確保しつつ高強度化を実現しました。

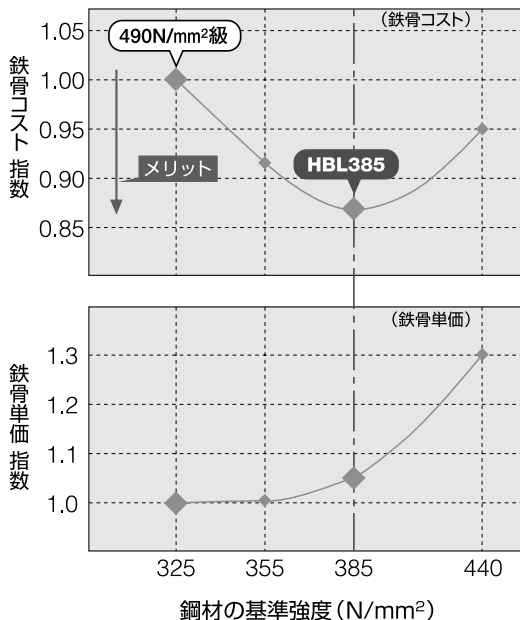
母材シャルピー値は70J以上を保証。大入熱溶接に対しても溶接部の高靱性化を図っています（オプション仕様）。

中層～超高層の幅広い建築物に対応

板厚は19～100mmまで対応しています。S造、CFT造、SRC造の中層～超高層まで幅広い建築物に適用できます。

鉄骨コスト試算例

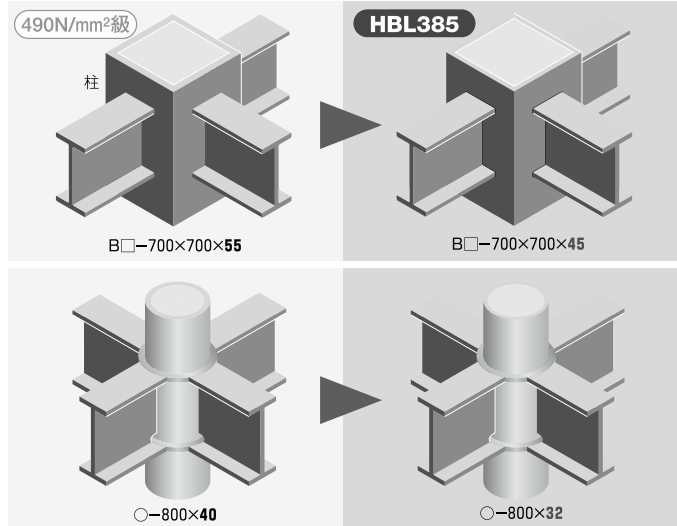
B□-700×700×55 (490N/mm²級) ▶ B□-700×700×45 (HBL385) の場合 (右図)



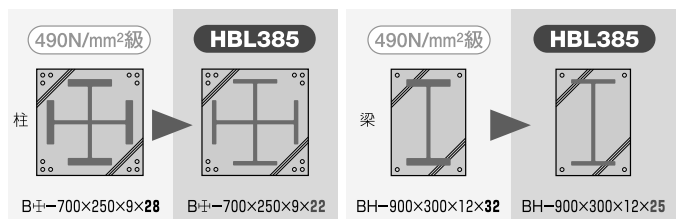
●鉄骨コスト：基準強度に反比例して板厚及び重量が削減できると仮定した場合の鉄骨総コスト

適用例

S造・CFT造



SRC造



JFE スチール 株式会社

〒100-0011 東京都千代田区内幸町2丁目2番3号(日比谷国際ビル)
 建材センター プロジェクト営業部 TEL (03)3597-3892 FAX (03)3597-3897
 建材営業部 建築建材室 TEL (03)3597-3507 FAX (03)3597-4020